



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai1-chu/>

令和6年度 第6号  
校長 鈴木 康治  
令和6年 10月3日

## 生徒会新役員が決定しました。

9月13日に生徒会役員選挙が行われ、9名の新役員が決定しました。10月末の引継ぎ式を経て正式に現役員から新役員へと引き継がれることとなります。現生徒会の皆様、1年間学校の中心としての活躍本当にありがとうございました。

現生徒会長そして新生徒会の皆さんに一言ずついただきましたので御紹介します。

【現生徒会長 さん】

- 生徒会長になってからこの一年間はたくさんの発見と学びの連続でした。行事を中心となって進めていくことは、簡単なことではありませんでしたが、その分達成感もあり、生徒会メンバーと過ごした時間はかけがえのない思い出となりました。そして、僕が学んだ、一番大切なことは、最後まであきらめずに何事にも楽しさを見出すことです！これからも生徒会での経験を大切にしていきたいと思います。

【新生徒会の皆さん】

- 僕の公約は、「皆さんの意見を大切に」、「新しいことにチャレンジしていく」の2つです。これからの皆さんの学校生活がより楽しく、より快適になるように努めていきます。よろしくお願いします。（生徒会長 さん）
- 副会長として、会長をサポートし、仲間と協力しながらより良い学校生活を送れるようにたくさんチャレンジして全力でがんばります。よろしくお願いします。（副会長 さん）
- 私の公約は、「人と人とのつながりを大切に、あいさつであふれる学校へ」です。この公約を大切に、昨年の経験を活かして活動していきます。（副会長 さん）
- 昨年度の経験を活かしてどんなことにも全力で頑張ります。様々な行事を成功させられるよう、仲間と協力し、自分の仕事に責任感を持って取り組みます。（書記 さん）
- 初めて生徒会本部役員として活動するので、至らない点もあるかと思いますが、生徒会、一中、そしてみなさんのより良い生活を書記として支えられるように頑張ります！よろしくお願いします！（書記 さん）
- 私は、生徒一人ひとりに耳を傾け、みなさんにとってより良い学校生活を送れるよう頑張ります。そして、会長と副会長を1年間サポートしていきたいです。（会計 さん）
- これから1年間、全校生徒から信頼されるような会計を目指し、全力・笑顔で頑張ります！（会計 さん）
- 信任していただきありがとうございました。会計監査として、一中が代々受けついできた生徒主体であるなどの良い習慣を受けつぎ、一中がより楽しくなるよう努めます。よろしくお願いします。（会計監査 さん）
- 生徒の意見を取り入れ、この一中をよりよい学校にしていきたいです。また、会計監査として、間違いのないよう最後まで責任をもって取り組みます。（会計監査 さん）

## 制服の改定について

かねてから御案内していた、本校制服の改定について、この度、ようやくその見本ができあがり、正式に来年度からの改定をお知らせすることができることとなりました（在校生は卒業まで、今のままの制服で大丈夫です）。新しい制服はブレザースタイルで、スカートとスラックスの両方を選べるようになっていきます。令和7年度の新入生から変更となり、令和8年度末（現1年生が卒業する）までは、現行の制服と新しい制服が混在する期間となります。新しい制服の見本は、10月9日（水）から1ヵ月程度、校長の在校時に、校長室前の廊下に展示しておきますので、興味のある方は、生徒の皆さんは休み時間等に、保護者の皆様は来校した際等に御覧ください。なお、新制服の見本については細部について未完成の部分があります。



### 【一中制服見直しまでの経緯】

- ジェンダーレス等の社会的背景を受け、市内中学校のほとんどが既に制服の見直しを終える中、本校では令和5年度2学期から、制服の見直しについて職員の間で共通理解を図り、制服検討委員会を設置。
- 令和5年度3学期 制服の変更に係るアンケート（生徒、保護者）を実施し、その結果を受け、ブレザー型、上下異なった色・デザインのものへ変更することで方向性を統一（回答者のうち4分の3以上の賛成あり）。
- 市内に実績のある4社にプレゼンを依頼し、うち3社から参加の意向を得る。
- 令和6年5月上旬 3社による制服プレゼンテーション会を実施。制服検討委員会職員10名、生徒代表2名、保護者代表1名が参加し、5項目による採点を実施。集計の結果により依頼先業者を決定。
- 令和6年1学期中に、新制服の機能、生地、色、柄等の細部について業者と複数回の検討会を実施。
- 令和6年2学期 新制服のサンプルが完成し、周知活動を開始。

## 校長面接が始まりました。

進路に向けた3年生の「校長面接」が始まりました。例年の校長面接で感じるのですが、普段は絶対使わないような丁寧すぎる言葉を使おうとするあまり、覚えてきたことをそのまま話そうとする人がいますが、面接官からするとこれではその人の感情が感じられず、「本当にそう思ってるの？」とあまりいい印象を受けません。多少言葉遣いが普段に近くても、その時の自分の気持ちを素直に表現している人の方が、答えに信頼性を感じ印象が良いものです。とはいっても、面接ですからある程度の敬語や丁寧な言葉遣いは必須です。なので、そうした言葉遣いが自然にできるように、普段から少しずつ気を付けておくようにすることが重要になってきます。また、言葉遣い以上に気になるのは、入退場時や面接中のちょっとしたしぐさです。面接官はその道のプロですから、受験生のちょっとしたしぐさで普段の様子をかなり正確に読み取ります。こちらも普段から十分に気を付けておくようにしたいものです。なお、校長面接は進路面接の練習ではありますが、普段話すことのない皆さんとしっかりと話しできる非常に貴重な機会だと私は思っています。皆さんそれぞれが、どんな人なのか、どんな考えを持っているのか、とても楽しみにしています。